

## 主題：神の建造する働き

メッセージ 13

### キリストの頭首権の下で命における正しい秩序の中へともたらされて 神の都を建造する

聖書：エペソ 1:22-23. 4:15-16. コロサイ 1:18. 2:19. ヘブル 11:10. 啓 21:2

- I. 建造の目的は、キリストの頭首権の下でわたしたちをみな命における正しい秩序の中へともたらずことです——エペソ1:22-23. コロサイ1:18. 2:19：
- A. わたしたちがかしらの統治に服従するとき、からだの建造があります。召会がどれほど建造されているかは、かしらに与えられている地位に完全にかかっています——エペソ 4:15-16。
- B. わたしたちがキリストの頭首権の下で命において建造されるとき、神は天上にある支配たちや権威たちに、ご自身の多種多様な知恵を知らせる立場を得ます—— 2:21-22. 3:9-11. 4:16。
- II. キリストの昇天において、神は彼を召会であるからだの唯一のかしらとし、彼を宇宙の頭首権へと就任させました。全宇宙のかしらはイエスです——コロサイ1:18. 使徒2:36. エペソ1:22-23：
- A. キリストは、団体的に召会であるからだのかしらと、個人的にすべての信者のかしらの両方です。彼は直接的にわたしたち一人一人のかしらです——コロサイ 1:18. I コリント 11:3。
- B. 神がキリストを万物のかしらとして立てるために、彼はまずキリストを召会のかしらとしなければなりません——コロサイ 1:18. エペソ 1:22-23：
1. 宇宙におけるキリストの将来の地位は、今日の召会におけるキリストの地位と大いに関係があります——コロサイ 1:18. 3:4, 10-11。
  2. 神はまず召会におけるキリストの頭首権を保証しなければなりません。こういうわけで、キリストが召会のかしらである事柄は極めて重要です——エペソ 1:22-23, 10。
- III. 召会生活は、キリストの唯一の頭首権の下でかしらにつり上げられる生活です——10, 22-23節. 4:15-16. コロサイ2:19：
- A. 神は彼の選ばれた者たちをかしらにつり上げて、かしらとしてのキリストを持つキリストのからだとします——エペソ 1:4, 22-23：
1. キリストの中で万物をかしらにつり上げることの第一の段階は、神がご自身の子たちをキリストの唯一の頭首権の下に置くことです—— 5, 10 節。
  2. 召会が率先してキリストの頭首権の下でかしらにつり上げられるとき、神は他のすべての物をかしらにつり上げる道を得ます—— 22-23, 10 節。
- B. 正しい召会生活の中で、わたしたちはキリストの中でかしらにつり上げられませぬ—— I コリント 11:3：
1. もしわたしたちがキリストの中でかしらにつり上げられるとは何であるかを

知らないなら、召会を知ることはできないでしょう——エペソ 1:10, 22-23。

2. 召会生活の中で、わたしたちは率先してキリストの中でかしらにつり上げられます。このために、わたしたちはすべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります—— 4:15-16。

C. 召会の秩序は、キリストの唯一の頭首権を尊ぶことから出てきます——コロサイ 1:18. ピリピ 1:1 :

1. 召会には人の組織はありませんが、霊的な秩序があります—— 1 節. I コリント 14:40. 11:34 後半 :

- a. 真の召会の実行は、聖霊の下での正しい秩序にかかっています。この秩序がなければ、わたしたちは召会生活の実際の実行を持つことはできません。——使徒 20:28. I コリント 12:4-11。
- b. 召会のかしらは、主なるキリストであり、召会における権威は、キリストの頭首権です——マタイ 28:18. コロサイ 1:18。
- c. 召会における秩序は、キリストの頭首権がわたしたちによって実際的な方法で実現されることから出てきます—— I コリント 11:3, 16. エペソ 1:22。
- d. もしわたしたちがみなキリストの唯一の頭首権を尊ぶなら、召会生活の中でわたしたちの間に、すばらしい霊的な秩序があるようになります—— I コリント 14:40。

2. わたしたちはキリストの唯一の頭首権に服従することによってのみ、召会生活を真に実行することができます——コロサイ 1:18. 2:19 :

- a. わたしたちがかしらに対して正しいとき、すべての肢体に対して、またからだに対して正しいのです—— 1:18. 2:19. 3:15。
- b. わたしたちはキリストを畏れつつ、互いに服従し合う必要があります。もしわたしたちが互いに服従し合っていないなら、わたしたちは唯一のかしらとしてのキリストを怒らせ、彼の頭首権においてキリストに対する畏れを持っていないのです——エペソ 5:21, 23。

IV. わたしたちがキリストの唯一の頭首権を尊ぶなら、主の回復において召会は家であるだけでなく、都となるでしょう——ヘブル11:10. エズラ1:2-3. ネヘミヤ1:9. 2:5, 17. I テモテ3:15. 啓21:2, 10-11 :

A. 家としての召会は、おもに命としてのキリストについてであり、都としての召会はおもにかしらとしての召会についてです—— I テモテ 3:15. マタイ 5:14. コロサイ 3:4. 1:18 :

1. わたしたちが命としてのキリストを経験し、享受するとき、家としての召会を持ちます。わたしたちがキリストの唯一の頭首権を認識するとき、召会は拡大されて都となります。都は神の王国を表徴します——マタイ 16:18-19。
2. 都としての召会は、命としてのキリストをもって建造されているだけでなく、キリストの頭首権をもって建造されています。こういうわけで、キリストはわたしたちの命であるだけでなく、わたしたちのかしらでもあります——コロサイ 3:4. 1:18. 2:19。

- B. 都としての召会のために、わたしたちの意志が活用され、更新され、造り変えられなければなりません。それはわたしたちの意志がキリストの唯一の頭首権に服従させられるためです——雅 4:1 後半, 4. 6:4。
- C. わたしたちがキリストの唯一の頭首権を尊ぶなら、召会は家から王と彼の王国のための都に拡大します——詩 48:1-2. I コリント 1:2. 12:12-13, 27. エペソ 1:22-23. 4:15-16. 啓 21:2, 10-11, 14. 11:15。

© 2015 *Living Stream Ministry*